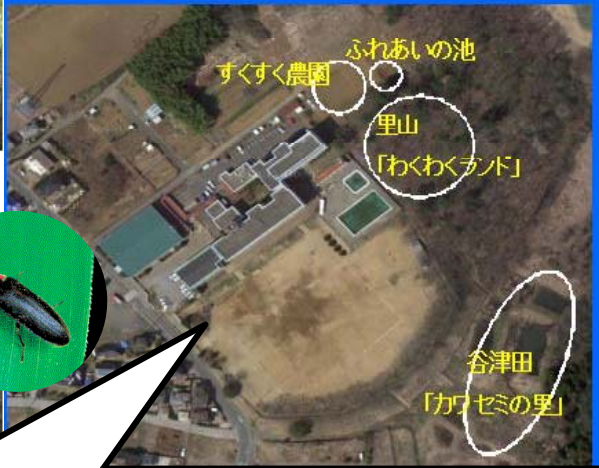




地域自慢

ビオトープから始まる
まちづくり

学習の拠点となった神谷小学校の周辺



広げよう！「自然を守る大切さ」
～ホタルがすめるカワセミの里にしよう～
牛久市立神谷小学校 第4学年



再生前の谷津田

神谷小学校には、現在、学校農園としての「すすく農園」、里山としての「わくわくランド」、谷津田「カワセミの里」があります。この谷津田「カワセミの里」は、霞ヶ浦の水源の一つとなっています。ここは、自然がとても豊かなところで生活科や総合的な学習の時間を中心に多くのことを学ぶことができます。今では、神谷小学校の自慢の一つです。

しかし、この土地は荒れ果てており、だれひとりとして行くことのない場所でした。この谷津田をわたしたちの先輩たちが市長さんや地域の方々と話合っ、いろいろな生き物がすめるように、6年間かけて再生しました。そして、この谷津田を「カワセミの里」と名付けることにしました。



現在の谷津田

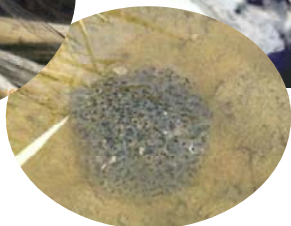


泥まみれにな
って稲刈り

ザリガニ
たくさん釣る

霞ヶ浦の水源であるこのカワセミの里(谷津田)を、生き物の道として水質を保つために田んぼビオトープとして稲を栽培したり、いくつもの池を作ったりして、改良を重ねてきました。その結果現在では、ザリガニや蛙はもちろん、トンボ(4種類)、タナゴ、カワセミなどが生息しています。

さらに、ホタルを呼び戻そうとホタルの生態について学習したり、えさとなるカワニナや幼虫が住めるように谷津田の改良をしたりしているところです。



わくわくランドで体験学習！